



▲宿泊施設をめぐり、おけにくんだ源泉を渡す湯鬼神

登別を代表する冬の風物詩『登別温泉湯まつり』は今年度、惜しくも中止となったものの、多くの人を癒やしてきた湯の恵みに感謝し、無病息災を祈った参加者たち。温泉街は、感染症対策など、今できることを行いながら、登別観光を楽しむ多くの人々を迎える準備を進めています。

分湯式
2月3日(水)、登別温泉やカルルス温泉の旅館・ホテルに、くみ上げた源泉を配布する『分湯式』が開催されました。

にぎわい取り戻す

2/3

出会いが生み出す
新たなまちづくり

登別市市制施行50周年記念事業

令和2年度登別ときめき大学基礎コース講座
最終講座兼体験入学講演会

2月13日(土)、市民会館で北海道に根ざした事業を展開するクリエイティブオフィスキューの代表取締役でプロデューサーの伊藤亜由美さんが「ストーリーあるプロデュース」をテーマに講演しました。

北海道の魅力をより多くの人に知ってもらおうと、テレビや映画などを企画してきた伊藤さん。



▲人との出会いやまちづくりについて語る伊藤さん

地域で活動する人々との出会いが、地域の魅力を伝えるさまざまな企画を生むきっかけになったという伊藤さんの話に、来場した市民約160人は、人と人とのつながりの大切さを再認識していました。

2/13

異国の文化にワクワク

国際理解講座 in 幌別小学校

2月2日(火)、幌別小学校で『国際理解講座』(市主催)を開催しました。

この日は、ブリュノ・モンシャートルさんを講師に迎え、出身国フランスの地理や観光名所、学校制度、ふるさと『レスカール』などについて講演していただきました。

ブリュノさんは、市民にとって身近な『温泉』などを題材に、日本とフランスの文化の違いを分かりやすく説明。

総合的な学習の一環として行われた同講座に参加した3年生39人は、熱心にメモを取りながら、教科書とは一味違った、ブリュノさんのお話に耳を傾けていました。

2/2



▲日本での生活をふまえて、フランスについて語るブリュノさん(左)



▲パーティションでプライバシーにも配慮された会場

生活に寄り添う

住まいの困りごと相談会

2月12日(金)・13日(土)の2日間、アーニス1階で『住まいの困りごと相談会』(同実行委員会主催)が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で先行きが不透明な中、より快適な『おうち時間』を過ごしてもらおうと、日常生活に欠かせない電気やガス、上下水道などの市内事業者団体が共同で企画した同相談会。

感染症対策のため、予約制での開催となりましたが、訪れた市民は、住まいをより安全・安心にするアドバイスを受け、胸のつかえをおろしていました。

2/12・13